

大宅文庫ニュース

2024年8月 公益財団法人大宅壮一文庫発行 通期89号

復刊5号記念特集



松田紀子さん（大宅文庫書庫で） 3頁に寄稿

Inspire Impossible Stories

「おもしろくて、ためになる」を世界へ



KODANSHA

復刊5号記念特集

雑草譜



公益財団法人大宅壮一文庫 理事長 大宅 映子

大宅文庫の理事長を引き受けた頃に「大宅文庫って、岩波文庫みたいなシリーズですか？」といわれて驚いたことがある。さすがに近頃はそんな質問はされなくなつたが、週刊誌、月刊誌などが、引き出すのも力仕事のようにぎっしり詰まっている文庫の状態を見ない限り、実感がわくことはないだろうと思う。

そもそも大宅文庫は、父・壮一が原稿を書く時に必要な雑誌の記事を、独特の検索項目で引き出せるように作ったものだ。今でこそコンピュータで検索出来るが、一九六〇年後半頃は「雑誌」を検索することなど不可能だった。

父は、読み終わったら網棚に捨て置かれる「雑誌」の中にこそ、彼が求める情報がある、と信じて「雑草文庫」を自分が使うためにつくったのだ。

出版社のご協力のおかげで、設立五十年を超えている。が、しかし、昨今は本が激減した。新聞も読む人が減り、もっぱらエレクトロニクス任せだ。

今から五十年後に大宅文庫はどうなっているだろう？ 真に心細い。大宅文庫がどうなっているのかも問題だが、一人ひとりの個人の頭の中がどうなっているか。判断力は今のようになれるしているだろうか。近頃は筆をとめて、フト、そんなことを考える。

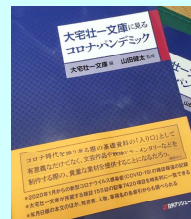
ふと思う。50年後、人の判断力は機能しているか…

CONTENTS

寄稿 息子は学校に戻った。	松田 紀子	3
今こそ伝えたい大宅壮一の「心」	奥田 史郎	5
特集 大宅文庫収蔵誌 全容解析		9
特集 「大宅式索引」は歴史の鏡だ		11
第55回大宅壮一ノンフィクション賞『鬼の筆』		14
雑誌レーダー(出版各社ミニ情報)		15
「コロナ索引」集大成		18
Web OYA-bunko大改修1年		19
雑誌の魅力 全力アピール		20
大宅文庫パトネージュ		21
大宅文庫インフォメーション		23



大宅壮一の「心」が今も生きる大宅文庫



「コロナ索引」本

寄稿

大宅文庫で初の雑誌体験 息子は翌日学校に戻った。

去年の秋ごろ、高2になる息子が学校に行きたくないと言ってくる日が続いていた。学校を休んでも1日中部屋にこもってスマホをいじってるだけだったので、その日、大宅壮一文庫を訪問する予定があった私は、ダメもとで息子を誘ってみた。

「なにそれ」

「昔の雑誌がいっぱい置いてあるところ。今日は職員の方に案内してもらえらるから、なかなか珍しい体験になるよ」

自宅から比較的近かったこともあり、しぶしぶではあるがついてくる気になったようだ。



職員の方々は我々を歓迎してくださり、バックヤードにも案内して下さった。古い紙の放つ独特の匂い。迷路のような書棚にみっちり納まっている懐かしい雑誌たちに驚喜し、私の心はゆるゆるとほどけはじめた。すると息子が、ある書庫の前で

松田 紀子

『オレンジページ』
『レタスクラブ』元編集長



まつだ・のりこ 長崎県生まれ。2000年㈱メディアファクトリー入社、『ダーリンは外国人』（小栗左多里）やたかぎなおこ作品を担当。2016年KADOKAWA転籍後、コミックエッセイ編集長、『レタスクラブ』編集長を兼務。雑誌をV字回復に導く。2019年㈱ファンベースカンパニーへ転職。2020年㈱オーバーラップ「はちみつコミックエッセイ」編集長兼務。2022年から2024年3月末まで雑誌『オレンジページ』編集長兼任。（写真/洞澤佐智子）

立ち止まり、おもむろに座り込んで読み始めた。90年代の月刊『ロッキング・オン』oasis特集だ。バンドをやってる息子はリアムのファン。誌面いっぱい訴えてくるビジュアルの数々に興奮し、テキストをむさぼるように読んでいた。

「…デビュー当時のoasis、

の力を与えまくってほしい！：と、私は心のなかでガッツポーズをしたのだった。

◆

思えば私もその昔、息子のようにくすぶっていた時代があった。西の果ての田舎で溢れるほどの退屈を持って余っていた私の唯一の楽

しめは雑誌『ロードショー』。ジャッキー・チェンの大ファンだった私は彼のグラビア目当てで買っていたのだが、『ロードショー』が教えてくれる映画の魅力にはまり、12歳という年齢の割には相当数の映画を観ていたものだ。

◆

さて、座り込んで『ロッキング・オン』をむさぼり読んでいた息子はようやく立ち上がった。職員の方にお礼を言いつて、私たちは大宅壮一文庫を後にした。

「生まれる前の雑誌が読めるって、すごい？」
うん、だからそういう場所だつて私言つたよね。

でも聞くのと、実際に雑誌を手にするのでは、こうも反応が違うのか。それでこそ大宅壮一文庫の存在意義。かけがえのない雑誌体験。若者たちに雑誌を手にするの

◆

さて、座り込んで『ロッキング・オン』をむさぼり読んでいた息子はようやく立ち上がった。職員の方にお礼を言いつて、私たちは大宅壮一文庫を後にした。

◆

さて、座り込んで『ロッキング・オン』をむさぼり読んでいた息子はようやく立ち上がった。職員の方にお礼を言いつて、私たちは大宅壮一文庫を後にした。

◆

さて、座り込んで『ロッキング・オン』をむさぼり読んでいた息子はようやく立ち上がった。職員の方にお礼を言いつて、私たちは大宅壮一文庫を後にした。

◆

さて、座り込んで『ロッキング・オン』をむさぼり読んでいた息子はようやく立ち上がった。職員の方にお礼を言いつて、私たちは大宅壮一文庫を後にした。

Eat Well, Live Well.

Aj
AJINOMOTO.

なんと、紙氏!
になったンダ。



環境に配慮して、「味の素®」と「うま味だし・ハイミー®」が、
紙のパッケージになりました。

※年間約34%のプラスチック使用量を削減します。(従来品比)

「昭和の巨人」に最もそばで仕えた男

奥田 史郎

大宅壮一初代秘書
大宅式索引分類創始者



おくだ・しろう 1933年、富山県生まれ。大宅壮一の下で約5年間、雑誌記事の整理に努めた。その後、大宅の「命令」で中央公論社に入社、『婦人公論』編集次長などを歴任。元公益財団法人大宅壮一文庫理事。東京都府中市在住。

今こそ伝えたい 大宅壮一の「心」

大宅文庫の祖・大宅壮一（1900〜70）がテレビの低俗化を批判して「一億総白痴化」と評してから70年近くが過ぎた。街中から書店が次々に姿を消し、「一億総スマホ時代」になった今日の姿を、泉下の「昭和の巨人」はどう見ているのだろうか。大宅文庫がまだ資料室（雑草文庫）時代、大宅翁の薫陶を受け、独自の分類法で現在の「大宅式索引」の礎を築いた奥田史郎氏（91）に、今だからこそ思う「大宅壮一の心」を聞いた。

素顔

何ごとにも無頓着、ぶっさらぼうなようにいて心の底では人への思いやりがあり、外へ出ると、とにかく豪胆。大宅先生の印象はこれにつきます。私が大宅先生の下で働きましたの

思いやりと豪胆さと

は1950年代の初め。故郷の富山から上京し、将来は絵描きになりた

い、シナリオライターになりたいなど夢を描いていた頃に、当時の富山県庁で医務技官を務めていた私の父と先生の昌夫人が兄妹だったご縁で先生に紹介され、手伝いを始めたのがきっかけです。

その一番の仕事が雑誌資料の整理です。先生は「原稿を書く時に使えるように整理せよ」と言う。どのよ

うに、とは絶対言わない。そこで先生と一緒に買い込んだ明治時代からの雑誌を徹底的に読み込んだ。情報



1957年に旗揚げした「ノンフィクションクラブ」の会合でひとり横になる大宅壮一（65年・銀座）

憶していますが、先生はその女性を日勤させたのです。これも先生の優しさの表れと理解しています。

このメンバーで話し合いながら徐々に雑誌の情報をまとめていきました。大宅式分類法はたくさんあった情報を、引きやすいように名前を付けてカード化していくものです。当初は人名と件名だけの分け方でしたが、その後、（一つの情報を二重、三重に登録する）副カード方式を採用しました。

執筆中の先生の注文は「お〜い、高峰秀子について書いたものを出せ」「大阪出身の有名人を揃えろ」という、大概は大雑把な言い方。でも、分類法が徐々に確立して行ったことで検索作業はそれだけ楽になったのです。

雑誌愛

私がそばで感じた先生の「雑誌愛」について語ります。

著述家としての心得なのでしよう、先生は常々、私たちにこう言っていました。「文章とは、人の個性まで分かるように書かなければダメだ。そのために雑誌と資料室が必要なんだ」

（左面に続く）



⑥から①書齋で昌夫人と②手書きの索引カード③徳川夢声④、柳家金語楼⑤と(1958年)

「有能な記事を見逃すな」

なぜ雑誌なのか。

「単行本は中身が決まっている。しかし、雑誌は薄くても色々なものが詰まっているじゃないか。時代を映す鏡みたいなものだ」

よく伝えられているエピソードですが、古書店などに行くと、本棚にきちんと並んでいる古本よりは、店先のワゴンなどにある1冊100円程度の本を先に見る人でした。そんな中から、昭和初年当時、若い人たちの間でベストセラーだった旧ソ連の『赤い恋』(1952年没)なども喜んで、仲間の著作家たちに得意になって披露していました。

「家は柱も土台も大事だが、壁を飾る額物や棚に壺があつて初めて家らしくなる。文章も同じだ」。この教えに従い、私たちは欄外にまで目を配りました。当時の雑誌は欄外に

もこまごまと情報が書き込まれていくからです。「有能な記事を見逃すな。注意しろ」。先生の口癖です。それほどまでに先生の雑誌に対する思いは熱く、尊敬すべきものでした。

自分大事に・関心広げよう

白痴化?

日本は戦後、先生が発した「駅弁大学」が増えたことで「教養人」がとも増えた。その結果、他から得た情報だけでのやり取りが事業でも可能になった。先生はこの手の商売

を「虚業」と称しました。「一億総白痴化」の造語は、テレビ番組を一例にそうした社会への警句として生まれたと理解しています。今日の日本社会を見た時、状況はもっと深刻な気がします。テレビ番組はお笑い芸人のオンパレード。飲

ずこちらの要求額を示し、それより高いと絶対に買わないから持って帰ればいいだろう」と切り出して、その後「三つの石はみな別々の山や溪筋(たにすじ)から採ってきたものだろう。そんな石を置く庭は乞食庭といって軽蔑されるんだ、といって値切つてやった」と珍しく種明かしを披露していた。

◆一億総白痴化 大宅壮一が1956(昭和31)年にテレビ番組の大学野球応援風景を引き合いに発し、大衆の心をつかんだ言葉。勃興期のテレビが人間の想像力や思考力を低下させる恐れを指摘した

思い出エピソード

奥田 史郎

値切り上手?

まだブロック造りの書庫建設前のこと。大宅家の西南側は芝生の広い庭で、玄関脇からバラの咲くアーチを潜つて出入りした。潜つた右手の小さな花壇は昌夫人の管轄下で、当時はグラフィオラスの種が飛散して芝生の方々に小さな剣型の葉を伸ばすので、せつせとそれを取り除いている姿をよく見た。

その日、私は頼まれて芝刈り作業をしていた。垣根の向こうに、中型のトラックがしばらく停車していた。そのうちに二人の人がアーチから顔を出して「ご主人はいるか。いたら庭石を買わないか聞いて欲しい」という。庭の様子を偵察していたらしい。

執筆が一段落したのか出て行って話し合っている。しばらくして交渉が成立したらしい。「やあ、旦那には敵わない。負けたよ負けた」と大声で話しながら、でも嬉しそうに彼らは三個の庭石を、さすがに芝生を傷つけないよう上手に運んで指定位置に据えろと、金を受け取つて帰つて行った。「彼らもちよつとした小遣いになつただろう」とトラックを見送りながら先生は言った。その日はずっとご機嫌で「ま



1967年に改築された大宅邸(月刊『観光』から)

知つていたなと思つた。もしかすると先生お得意の造語かもしれない。(抜粋)



あ、しぼりたて。
が、いつでも新鮮。

「生しょうゆ」の「生」って何？

って思ってたけど、そうか、これなんだあ。

フレッシュな味わいに、素材がぐんと引きたつ感じ。

その秘密は、火入れをしない非加熱製法から生まれた

鮮やかな色、おだやかな香り、さらりとしつつ豊かなうまみ。

そして、開けてからも鮮度をキープする、密封ボトル。

一滴ずつ使えて、最後の一滴まで新鮮。

いつもの料理がほら、ひとつ上の味になる。

いつでも新鮮®

しぼりたて生しょうゆ



しぼりたて生 検索

キッコーマンお客様相談センター 0120-120-358

kikkoman

おいしい記憶をつくりたい。

日本がおいしくなるワイン。



「ソラリス」シリーズは、国産(長野県・山梨県)ぶどうのみを原料として、
 ぶどう栽培から醸造まで徹底してこだわりの造りあげるプレミアム日本
 ワインです。勝沼と小諸、二つのワイナリーで醸造からびん詰めまで一貫
 して行い、出荷されます。

徹底したこだわり



世界の銘醸に肩を並べる
 日本ワインを*目指す。
 マンズワイン「ソラリス」シリーズ

徹底した温度管理

ワインは、専用の定温倉庫
 で15度前後に保って保管
 し、出荷の際はクール便で
 配送。お客様へお届けする
 まで徹底した温度管理を
 行っています。

※SOLARIS<ソラリス>とは、
 ラテン語で「太陽の」という意味。
 陽光をたっぷり浴びて育つ良質の葡萄だけを
 使うというマンズワインの思いをこめた言葉です。

kikkoman

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

明治期からの65万冊を分類

大宅文庫は明治期からの雑誌80万冊を収蔵する。この150年間、雑誌は時代の変容とともに盛衰を重ねてきた。収蔵誌全体を年代別、内容別などで分類し時代とのかかわりを分析することは大宅文庫の特性を新たに明らかにすることにつながるの

ではないか。そうした視点で、重複誌などを除く65万冊について初めて全体像の解析を試みた。集計データの中から「タイトル別収蔵冊数」「女性誌の収蔵期間比較」など4項目の結果を報告する。

(大宅文庫 下村芳央・岡 知幸)

特集

◆解析手法など 分析対象の65万冊はOPAC(オンライン蔵書目録)で公開済みの全誌。解析作業では誌名や刊行期間などで分類し、グラフ化には一部生成AIの処理力を借りた。

大宅文庫は各誌を創刊号からすべて収蔵しているわけではなく、今回の集計データは精緻な部分で実際の刊行実態とは異なると思われるが、日本の雑誌の時代感が明確に読み取れる。

盛衰、変容：グラフで明らかに



タイトル別収蔵冊数

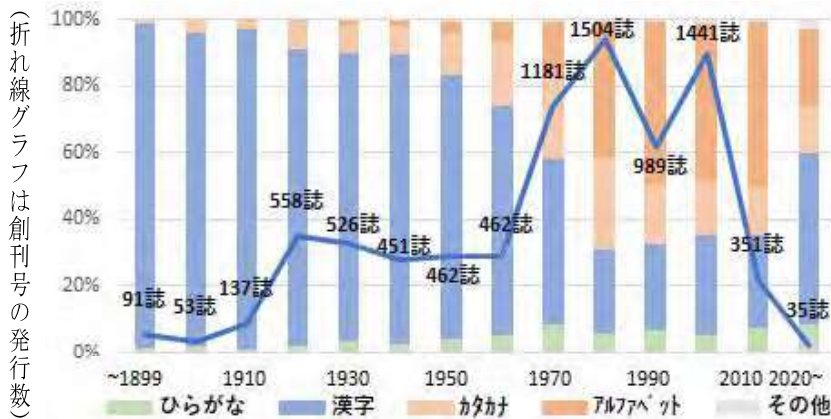
『週刊朝日』トップ
『サンデー毎日』

タイトル(誌名)単位で収蔵冊数が多い10誌を抽出した。月刊などに比べて発行間隔が短い週刊誌が当然すべてを占め、この10誌の総冊数だけで全収蔵誌の約5%に及ぶ。

1位の『週刊朝日』(5

大宅文庫収蔵誌 全容初めて解析

※数字は24年5月17日現在



(折れ線グラフは創刊号の発行数)

創刊号のタイトル文字種

漢字、復権、の兆し

大宅文庫が収蔵する創刊号で発行年の記録があるのは8241誌。この全誌のタイトルについて①ひらがな②漢字③カタカナ④アルファベットの割合を算出した。漢字+カタカナなどの複合型の誌名は頭文字で判別し、「月刊」「週刊」などの文字は除外した。

年代によって創刊数自体にはばらつきがあるため精密性には欠けるが、全体的には減少を続けていた漢字の割合が近年は増えている傾向がうかがわれる。アルファベットの誌名を冠した若い世代向けのファッション誌などの創刊が減少した結果、かつてのように漢字の比率が大きくなっているためと思われる。

は週刊誌の草分けとともに1922(大正11)年に創刊。『週刊朝日』は昨年休刊したが、依然トップに君臨する。週刊誌は近年、各

ちなみに月刊誌1位は『婦人公論』の1637冊で、2位『中央公論』、3位『文藝春秋』と続いている。

誌とも合併号が増加しており、『サンデー毎日』が1位になるのは今のペースが続くと5年後になりそう。4位で同じ毎日新聞社系の『週刊エコノミスト』も3位の『アサヒグラフ』に迫る。

人物

①大谷翔平	432件 (②)
②安倍晋三	226件 (①)
③藤井聡太	136件 (⑬)
④King&Prince	126件 (⑨)
⑤美少年	124件 (⑥)
⑥秋篠宮佳子	123件 (⑳)
⑦HiHi jets	121件 (⑪)
⑧今上天皇	117件 (⑳)
⑧Snow Man	117件 (⑦)
⑩Aえ group	115件 (⑧)

出来事・事柄

①ジャニーズ事務所	626件 (⑫)
②岸田内閣	548件 (③)
③ウクライナ	484件 (①)
④アニメ一般	472件 (⑥)
⑤コンピューター	426件 (一)
⑥インターネット	420件 (⑤)
⑦老人一般	409件 (④)
⑧人気スター	374件 (⑨)
⑨ポルノビデオ	345件 (⑦)
⑩新型コロナ感染症	330件 (②)

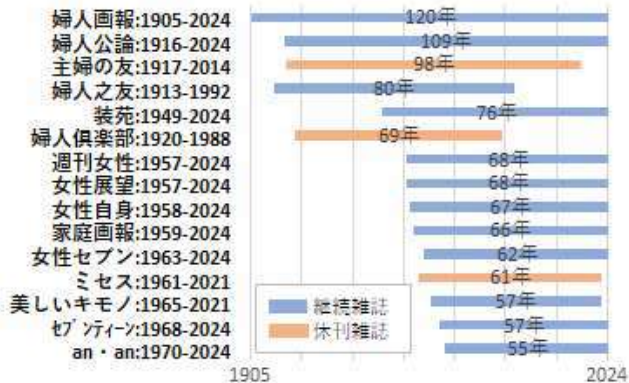
カッコ内は前年順位
(「一」は100位外)

2023年、1年を通して話題持ちきりだった大谷翔平が44本塁打を打ち、アジア人初の大リーグホームラン王のタイトルを手に入れた。雑誌記事に初めて取り上げられたのが2011年。以来、年間記事ランキングで2位に3度もなりながら果せなかった年間1位の座を獲得した。

前年に亡くなった安倍晋三元首相が第2位に。衝撃の事件で同年は年間1位だった。その遺産は良くも悪くも自民党の党勢に今後とも影響を与え続けるだろう。件名(出来事・事柄)では、社名変更・退所者続出などで揺れた旧ジャニーズ事務所が第1位に。人物ランキングでも所属グループ

の多くが上位を占めた。被害者の救済とともに騒動の終わりは見えていない。人物としての岸田首相はベスト10に入らなかったが、岸田政権は2位。安倍元首相の負の遺産とも言える「裏ガネ問題」は決着も防止策もようやく過ぎようとしている。22年に21位だった「宗教と政治」は落ち着いたように見える。ロシアの侵攻から3年目のウクライナ問題は3位。前年のトップから順位を下げたが、パレスチナ問題(22位)を含め今後もその動向

2023年大宅文庫索引登録数ランキング



女性誌の収蔵期間比較

『婦人画報』『婦人公論』など戦前創刊誌が上位独占

女性向け雑誌・ファッション誌を収蔵期間の長さ順に見た。女性誌も休刊が増加傾向にあるが、トップ15では12誌が刊行を継続中だ。『婦人画報』を筆頭に20世紀初頭に創刊された雑誌が上位を占め、『週刊女性』『女性自身』など女性週刊誌の黎明期である19



出版社別タイトル数

50年代終盤から60年代初めの創刊誌がそれに続く。『セブティーン』や『an・an』は堂々の15傑入り。歴史の古さを意外に思う方もおいでだろう。

誌数、最多は講談社

集英社、ムック収蔵多く2位

全所蔵誌を出版社ごとに分類し、合計タイトル(誌名)が多い順に10社(講談社・朝日新聞社・角川書店・日経は系列社を合算した数)を円グラフで表した。トップは講談社の185誌、以下は集英社、小学館など

特集

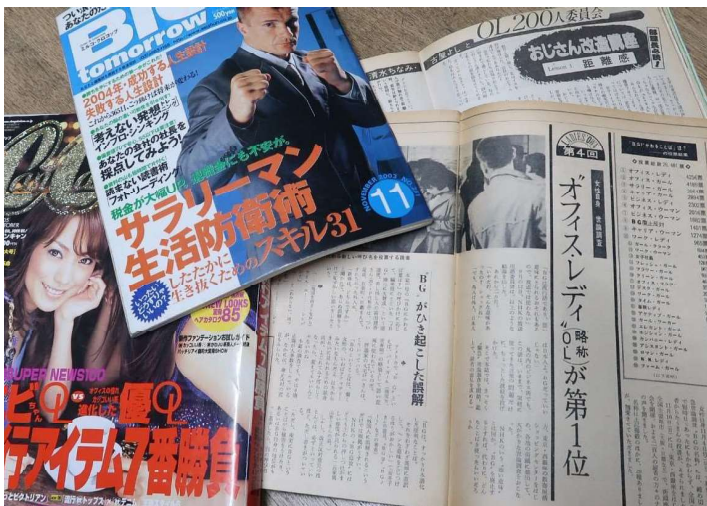
「大宅式索引」は歴史の鏡だ

キーワード、世につれ変化

大宅文庫が誇る雑誌記事索引は742万件余（今春現在）にのぼる。半世紀余にわたって歴代のエキスパート職員が連綿と作り続けてきた。その特異性と精緻さから国内外のマスコミや研究者たちに高い評価を得ている。明治以来、時代のうねりの

中で社会の実相を余すところなく伝えてきた雑誌の数々。そこから生まれる「大宅式索引」は時代を映す鏡であり、個々のキーワードの消長や変遷からは近現代日本の歴史そのものが読み取れる。

◆大宅式雑誌記事索引 大宅文庫の収蔵雑誌から作成、現在は刊行中の雑誌の240誌から採録している。「Web OYArbunko」で検索できる。「件名索引」（417万件）と「人名索引」（325万件）があり、件名は大・中・小の3階層に分類して検索しやすくしている。



80年代から2000年代初頭の雑誌。「オフィスレディ」などの活字が躍る

「サラリーマン」「OL」

昭和・平成経て「死語」に

日本の社会でかつては女性社員のことをOL、男性社員のことをサラリーマンと呼ぶのが一般的だった。「大宅文庫索引」の項目名にも中項目に「OL」、大項目に「サラリーマン」が設定されている。「OL」の呼称には社会に進出し始めた女性たちの華やかなイメージがあった。始まりは1963年の『女性自身』によるそれまでの「BG（ビジネス・ガール）」に変わる言葉アンケートで1位になったこととされる。『週刊文春』では87年9月からOLが中年男性を斬る連載「おじさん改造講座」がスタートし、97年

まで丸10年続く名物シリーズになった。2005年頃までは当時のカリスマモデル

ファッション界は難解用語が頻発も

時代とともに頻繁に変わる用語の代表格が、ファッション界だ。その一例が「チョッキ」の変遷。索引をたどると1970年代後半に「ベスト」が一般的になり、2000年代後半からは女性誌の多

ル蛸原友里さんを信奉する若い女性たちの間で「エビちゃんOL」ブームが巻き起こったのは記憶に新しい。「サラリーマン」の索引で最古は『モダン日本』1930年10月号（当時の表記は「サラライマン」）。元々は大正期に生まれた和製英語だが、同じ「給料取り」でも高級官僚や会社役員クラスなどは該当外とされ、日本の成長を支えた男性たちの悲哀も感じさせる。

そうした面を反映してか、この二つの用語は昭和、平成の時代を経て次第に「死語」化し始め、索引数もめっきり減った。「OL」を例に10年間ごとの中項目の登録件数を見ると、90年代は2187件、2000年代が1985件だったのに対し、10年代は1046件まで半減した。「OL」という言葉は女性が会社で働くことが少なかった時代の遺物になりつつある。現在は多くが「女性社員」「ビジネスマン」の言い換えで誌面に登場する。今後は男女共通で「ビジネスパーソン」に変化していく可能性が高い。一抹の寂しさと、味気なさを感じる時代になるのかもしれない。

チョッキ、ベスト、ジレ、スパッツ、レギンス、ジャンパー、ブルゾン、サンダル、ミュール

くが仏語の「ジレ」を使う。男性にはまだなじみがないが、2007年9月の日経エンタメでは既に「男前がこぞ着るキラアアイテム」と紹介されている。同じようにかつて「スパッツ」と呼ばれていたボトムスが、曲折を経ながらも「レギンス」でほぼ定着。「ジャンパー」は「ブルゾン」、「サンダル」は「ミュール」に、ほかに「ジーパン・ジーンズ」が「デニム」、「コールテン」は「コーデュロイ」という具合だ。索引チームは、新しい用語が出るたびにファッション雑誌などを調べて索引作成にあたっている。

「未婚の母」改め「シングルマザー」 時代が生んだ新表現

時代の要請で変化したキーワードも少なくない。その代表例が「未婚の母」から「シングルマザー」への切り替わりだ。

この種の雑誌記事を索引からたどると、1980年代までは「未婚の母」の表記がほとんどだった。しかし90年代に入ったあたりから、「夫はいらない、子どもだけほしい」という、それまでとは異なる「非婚の母」像がクローズアップされ始め、「未婚」だけでは実態に合わなくなった。行政相談などで離婚による母子家庭の相対が増したのもこの時期だ。

こうした背景があつて90年、索引タイトルにもすべての母子家庭を包含できる

「シングルマザー」が初出した。

「未婚の母」は文字通り、結婚せずに子どもを産んだ女性を指す。当時は子どもが出来るの外で働いていない女性は離婚するのが難しかった。現在のシングルマザーは未婚の母より離婚した女性の方が圧倒的に多い。

大宅文庫は索引の小項目名を「シングルマザー」に変更後、その下階層に「未婚の母」のキーワードを設定している。

書評っていったい何？

芸能人がコラムの中で「影響を受けた本」を紹介しているのを、「書評」って言いいますか？

本のことを語っているのだから言えなくもない。でも、違和感がありますよね。評論家や作家が語らなければ書評ではないのか。それも違うような気がします。あゝ、悩ましい。

大宅文庫の雑誌記事索引を構成する項目の一つに「記事種類」があります。例えば内容はインタビューなのにタイトルにその表記がない記事。この索引に「記事種類」インタビュー」と付記することで

一気に検索がしやすくなるのです。ちよつと便利でしょ？

書評のほか、グラビア、インタビュー、対談、座談、書評、小説の記事に付記しています。

とは言え、簡単にはその作業が進まないのが索引作りの難しさです。書評一つをとってもストレートな書評記事以外に、果たして書評と言つていいものかどうかと判断がつきかねる記事があまりにたくさんあるのです。

ちなみに冒頭のケース、小欄の結論は「該当せず」です。おそらく異なる見解をお持ちの方も。それだけ雑誌記事が多様性に富んでいるということなのでしょう。



編集委員 小林 恭子 2024

雑誌と「お付き合い」

大宅文庫の索引作成は1雑誌ごとの担当制です。小欄の現在の採録担当は30誌程度。近年の休刊ラッシュなどでかつてに比べ随分減りました。2010年代初頭のピーク時には70誌近い雑誌を担当していました。

その中で、現在まで最も長く担当しているのは『週刊新潮』です。もう30年以上のお付き合いになります。他の週刊誌では『週刊ダイヤモンド』も来年で30年。『週刊文春』はその半分以下の14年くらいです。

さすがに30年ほど担当している、その雑誌は「私の

ソフトバンク、オリンパス… 「祖業」→業態変換も 索引「原籍」変わらず

世界に冠たる巨大企業に成長したソフトバンク。当然、関連の索引は多く、1500件を超える。現在の業績規模で言えば投資会社で分類するのが相当だが、大宅式索引では中項目【コンピュータ産業一般】の中に小項目【ソフトバンク】を設定している。なぜか？

同社の索引第1号は1983年6月の「パソコンの神童・孫正義という男」（雑誌『財界』）。この記事が示すように元来、同社の祖

モノ！。でも15年程度だと、まだ胸を張って言えない気がします。

前任者と交代する時は、その作成手法を引き継ぎます。特に連載の採録方法などは、自分の考えと少々違つていたとしても継続性が保たれなくなるからです。

週刊誌は長期連載がものすごく多く、10年、20年継続もざら。その索引採録をしていると前任者の雑誌を「預かっている」ような気分にも。少しずつ連載が入れ替わり、雑誌すべての連載やコーナーが自分の考えで採録するようになって初めて、「この雑誌は自分のもの」と思えるようになるのです。

【白タク】項目に 新キーワード

小項目に【白タク】のキーワードがある。近年は「白タク事件」などが折々雑誌に登場する程度で索引の作成件数もわずかだった。ところが、シェアリングエコノミーの高まりでUberやライドシェアが日常的にニュースになり始め、【白タク】項目にこれらの新キーワードが多く作られるようになった。このように忘れられつつあった項目やキーワードが、時代とともに再び脚光を浴びるケースもある。

一方、「カラーテレビ」などの項目は現在では歴史検証のケースなどを除いて使われなくなった。

文春新書

新書2024年
上半期

第1位

(トーハン・日販調べ)

1

話す力

心をつかむ44のヒント

阿川佐和子

あなたの
コミュカを
劇的アップ!

アガワ流
「人づきあい」の
特效薬!

●定価990円(税込)
電子書籍も発売中



- ◆初対面を「いい感じ」にする必勝法
- ◆モテる男は聞き上手
- ◆本当に頭の良い人は平易な言葉で話ができる

1000人にインタビューした
会話術の達人が
コミュニケーションの
極意を教えます!

170万部
突破!
の大ベストセラー



170万部突破!
の大ベストセラー

実は...
聞くより
しゃべるほうが
得意です。
阿川佐和子



春日太一さん 苦節12年、栄誉

「第55回大宅壮一ノンフィクション賞」(日本文学振興会主催)は、2018年、百歳で死去)の生涯を、時代劇・時代史研究家春日太一さんの「鬼の筆 戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折」(文藝春秋)に決り、6月26日、都内で贈呈式が行われた。『羅生門』『八甲田山』な

ど日本映画史に輝く数々の歴史的な作のシナリオを手がけた橋本忍(2018年、百歳で死去)の生涯を、取材開始から12年かけて著した労作で、気鋭のノンフィクション作家を顕彰する大宅賞にふさわしい授賞と

戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折

鬼の筆

かずが・たいち 1977年東京都生まれ。日本大学大学院博士後期課程修了(芸術学博士)。2006年『時代劇マガジン』への寄稿から本格的な執筆活動に入る。以後、『天才勝新太郎』『忠臣蔵入門 映像で読み解く物語の魅力』など著書多岐。

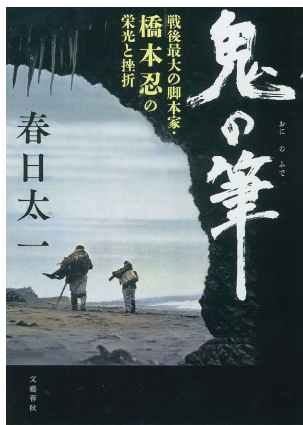
不世出の映画人、全貌明らかに

贈呈式では、選考委員5人を代表して梯久美子氏(第37回大宅賞受賞)が審査評を述べた。この中で梯氏は、春日さんが研究者としての能力を発揮して橋本忍の「未発表の一次資料」を多く発掘していることを指摘し、「大きな功績」とたたえた。具体的な記述では「膨大なインタビューを

している。その手つきが非常に厳密」「あるところに来ると著者の熱さみたいなものが噴出する」とし、「橋本忍という人の人生が垣間見える」と評価した。

そのうえでノンフィクション作品としての本質についても言及。「ノンフィクションには何が必要かがよく分かる。ノンフィクションの可能性も示してくれた。素晴らしい作品に仕上

第55回大宅壮一ノンフィクション賞



『七人の侍』『白い巨塔』『日本のいちばん長い日』『砂の器』などのシナリオを生み出した橋本忍の決定的評伝。「人間は時間をかけて積み重ねてきたものを、自分たちではどうにもならない圧倒的な力が無慈悲に打ち崩していく」。そうした、『鬼』たちによる容赦ない理不尽に踏みこまれる人々の姿を、橋本はひたすら描いてきた(序～鬼の詩)。その全貌を生前に行った延べ20時間超のインタビューを基に、取材開始から12年の歳月をかけて記した。全480頁。



大宅理事長と歓談する春日さん

「受賞のあいさつに立った春日さんは、「鳴かず飛ばず、無名の存在だった」10年前、文藝春秋社の勧めで勝新太郎の評伝を手がけることが出来た思い出に触れ、「文藝春秋社のおかげで出版の社会に入学させてもらった。きょうは高校を卒業する気分」と感動的な表現で喜びを表した。最後に「今後は(大宅賞)受賞作家の名に恥じないものを書いていきたい」と力強く抱負を述べた。

会場には大勢の出版関係者らが出席。式後のパーティーで春日さんは大宅文庫の大宅映子理事長とも歓談し、笑顔を見せていた。

専門図書館の蔵書管理・検索サービスなら

「情報館」



ブレインテック

株式会社ブレインテック
https://braintech.co.jp/

情報館

主婦と生活社

「『週刊女性』でしか読めないこと」「『週刊女性』だから読めること」——それを胸に刻んで編集長以下、60人前後の編集部員たちが日夜ネタを探して飛び回り、「話題の人」「注目すべき人」を取材して、その内面や背景までを掘り下げて、毎週火曜日（地域によって一部異なります）にお届けしています。

同時進行で、24時間、365日、ウェブ版『週刊女性プライム』も更新中。テレビや新聞、ネットには載っていないスクープ情報が満載です！

『週刊女性』だけで読める記事追求



出版各社の雑誌にまつわる最新ミニ情報を発信します

（日本雑誌協会役員社の寄稿を掲載しています＝順不同）

「がんばれ雑誌」連動企画

集英社

1966年に創刊された『週刊プレイボーイ』は、時代、読者の変化にあわせしなやかに変奏してきましたが、主題は変わっていません。それは、見て楽しく、読んでもおもしろいこと。

これからも雑誌の両輪である美しいグラビア（ほぼ毎号アイドルのDVD付録あり）と分かりやすいニュース解説にこだわり、さらに幅広い人気連載（「江夏豊のアウトロー野球論」「爆笑問題の笑をかける、男の好奇心を満足させ続けます」）

『週プレ』の原点は男性の好奇心満足

光文社

1984年、良家の子女を対象に「お嬢様雑誌」として創刊した『CLASSY.』。80・90年代の「ハイクラスファッション」、2000年代の「モテコンサバ」、10年代の「こなれカジユアル」、時代を経て、21年からは「オシャレも人生も自分で選ぶ」をコンセプトとして自立した女性に寄り添う雑誌に。今年6月号が創刊40周年記念号となりました。

結婚、仕事の価値観が多様化し無限の選択肢と向き合う令和の女性に、より良い選択を手助けする誌面でありたいと願っています。

『CLASSY.』40年女性の選択手助け

世界文化HD

家庭画報

『家庭画報』は、今年9月1日発売の10月号で創刊800号を迎えます。創刊以来「夢と美を楽しむ」をテーマに、伝統文化、衣食住、美容、ジュエリー、旅行など時流に即した心豊かなライフスタイルを提案。専門性の高い知識や技術に裏付けされた圧倒的なビジュアルの美しさ、読者の方々へ信頼される特集記事も特徴です。

これからも、時を経て色あせることのない本物の価値を追求する雑誌を目指していきます。

「夢と美」の提案続け『家庭画報』創刊800号

日経B P

『日経トレンドイ』12月号の看板企画「ヒット予測ベスト30」&「ヒット商品ベスト30」。

本誌発売前日に開催する発表会はテレビやラジオなど50を超えるメディアに取り上げられ、最新トレンドを発信する一大イベントとなっています。

今年10月31日に発表会を開催、11月1日に12月号を発売予定。メディアでは過去5年分の歴代ヒット商品ベスト30も公開中です。

nkbp.jp/trehit30

ヒット商品発表会今年10月31日に

新潮社

5月18日、新入社員5名と研修のため大宅文庫にお邪魔しました。大宅社一の実績、私設資料庫に始まる歴史、利用者の傾向・推移や運営上の課題などを座学でご教授いただき、続いて書庫を特別に見学。充実ぶりや保存の工夫に感嘆し、興味を持った雑誌をむさぼり読む光景も。検索の要諦も教わって記事収集まで体験でき、意義深い充実の1日になりました。

雑誌媒体の保存にかける熱意、閲覧・利便性を日々高めていこうとする創意に一同感銘。おもてなしにただ感謝です！

次代のエース、大宅文庫で充実の研修

小学館

『サライ』は来る10月号（9月9日発売）で創刊35周年。3号連続で特大号を予定しています。

1989年9月、「わが国初、大人の生活誌」として月2回刊でスタートし、20周年を機に月刊化。通巻で700冊を超えました。公式ホームページ「サライ」も1000万PVを超えて好調に推移しています。本誌読者の平均年齢は50代後半から60代前半ですが、「サライ」は本誌より若く、女性が多いのが特徴です。30周年を記念して始めました特製おせちもご好評をいただいております。

『サライ』創刊35周年3号連続で特大号

文藝春秋

「田中角栄金脈の研究」「昭和天皇独白録」…。昨年、創刊100周年を迎えた「文藝春秋」は、時宜を得た企画で、月刊誌の分野において唯一無二の存在感を示してきたと自負しております。そうした編集姿勢は今も本誌の根幹をなしています。2024年6月号（5月10日発売）では、森喜朗元首相をジャーナリストの森功氏が追及し、自民党「裏金問題」の核心に迫っています。

文藝春秋のジャーナリズム精神は、世紀を超えて受け継がれているのです。

ジャーナリズム精神 世紀超え編集根幹に

講談社

呑み過ぎた翌朝、編集者が出版社して仰天。机の上に、上機嫌で六本の街を闊歩する自分の写真が置かれていた：なんてことがあります。人数は秘密ですが、弊誌『FRIDAY』ほど多くの専属カメラマンがいる編集部は他にないでしょう。彼らは昼夜問わずスクープを狙っています。

歴代編集長の机の引出しには、門外不出の歴史的な写真が保管されています。今年11月で創刊40年。その写真とともに、「美女も巨悪も眠らせない」という先輩たちの志が今も引き継がれています。

『FRIDAY』魂 揺るがず秋40周年

Gakken

東北大学加齢医学研究所の川島隆太教授監修の脳トレシリーズが好調です。脳トレは2005年に発売されたニンテンドーDSソフト「川島隆太教授監修 脳を鍛える大人のDSトレーニング」で注目されはじめ、15年に脳トレブームが再燃しました。

本書は05年から発売。現在、シリーズ計190冊、365万部を超えました。いまや人口の3割が65歳以上、10人に一人が80歳以上となり、脳トレ市場はこれからもさらに大きくなると予想されます。

川島教授の脳トレ シリーズ365万部超

朝日新聞出版

原宿は神宮前交差点に4月にできた「ハラカド」に、雑誌の図書館があるのはご存じですか？名付けてCOVER。60年代からの約3千冊が無料で読めます。

オープンイベントに創刊以来、表紙（カバー）の人にこだわってきた『AERA』が選ばれ、「雑誌のつくりかた大解剖展」を開催。表紙撮影のメイキング映像やパネル展示を多くの人に見ていただきました。雑誌市場の回復につながることを期待しています。

『AERA』の作り方 COVERで紹介

徳間書店

『アニメージュ』は今年の6月で創刊46周年を迎えました。読者のニーズも多様化し、近年はアニメだけでなく、VTuber、2・5次元、アプリゲーム、特撮などアニメ以外にもピックアップ。雑誌の内容もかなり様変わりしましたが、創刊以来変わらないのは、ファンとアニメを繋ぐ橋渡しの存在であること。雑誌不況のこの時代に、ファンの「推し活」のお供として少しは役立っているのではないのでしょうか。

50周年まであと4年、ファンと一緒に走り続けます！

「推し活」のお供に 『アニメージュ』を！

マガジンハウス

マガジンハウス初の試みとして、アジア圏の書店で販売する『アンアン』当地表紙版をスタートいたします。

海外にも読者が多い当社雑誌のグローバル戦略の一環として世界・アジア市場に向けてのチャレンジ。その第一弾として『アンアン』の台湾特集号を現地表紙版でお届けします。本文は日本語ですが、表紙デザインとテキストを現地バージョンにします。『アンアン』は今後、台湾以外でも現地版の発売を予定しており、現地読者から大きな期待が寄せられています。

『アンアン』海外進出 第1弾は台湾表紙版

ぴあ

創刊10年目の『ぴあMUSIC COMPLEX』は、誌名と同名のライブイベント、通称「ぴあフェス」を毎年開催し、音楽を本でもイベントでも楽しめる新しい運動の形を実現しました。

また、MOOKの特集で好評を博した、全国のパンの名店を集めた「パンのフェス」を日本出版販売（株）と共催したり、『韓流ぴあ』では実際に韓国の人気歌手を招聘してイベントを主催するなど、一つのコンテンツを様々な形でお客様にお届けするメディア運動企画を積極的に推進しています。

メディア連動の 新しい形を目指して

東洋経済新報社

『会社四季報』は雑誌コードを持つ雑誌です。創刊は昭和11年6月で「226事件」の4か月後。戦前、戦中、戦後で発行できなかったのは昭和20年の4号だけです。我々は会社の評論誌を作っています。まさにジャーナルです。

約4000社の上場企業に担当記者が張り付いています。担当記者が、この会社の課題はここにあると評論しているのです。それが株式投資の参考になるといわれています。いま年間160万部以上の支持を得ているのは、その評論の適格性ゆえだと思っています。

上場4千社を評論 『会社四季報』に支持

本と共に、歩む

BOOK☆WALKER

2023.11

話読みマンガアプリ「ヨミー！」公開!

BOOK☆WALKERでかねてより提供中の単品販売やサブスクリプションサービスとは別に、話読みに特化したマンガアプリを公開しました。会員登録なしで閲覧・購入できるほか、BOOK☆WALKERとの会員情報の連携も可能です。

2024.2

「株式会社PUBLUS」がグループ会社に!

国際標準技術に準拠したEPUB電子書籍ビューワ「PUBLUS Reader」をはじめ、電子出版関連ソリューションの開発・提供に強みを持つPUBLUS社とともに、より一層出版文化のデジタルの力によるイノベーションに努めていきます。

コーポレートサイトはこちら!



一迅プラス

2023.6

「一迅プラス」にてマンガ販売機能を開始!

株式会社一迅社よりシステム・機能の開発を受託している公式Webマンガ連載プラットフォーム「一迅プラス」において、話単位でのマンガ販売機能を公開しました。



株式会社ブックウォーカーは、電子書籍を主領域とするKADOKAWAのデジタル戦略子会社です。本のあり方、読書のあり方、出版のあり方をデジタルの力で再定義し、多様な作品が循環し続ける社会の実現を目指しています。

BOOK☆WALKERの魅力を紹介

オリジナルコラボマンガ COLLABORATION を公開中!

マキとマミ
MAKI & MAMI BOOK☆WALKER
ブックウォーカーと

ブックウォーカー社に集う個性豊かな社員の、個性あふれるエピソードを紹介!

電子書籍事業の成長性を見て、将来働きたいな...

「本が好き!」ってこと!

福田ナオのわくわくブックウォーカー訪問

電子書籍の会社で働くエンジニアやデザイナーってどういうお仕事なの? ブックウォーカー社に訪ねて社員の方に聞いてみました!



一緒に働く仲間を募集しています

くわしくはコーポレートサイトやマンガをご確認ください



「コロナ索引」集大成

4年余の7420件時系列で

雑誌記事索引目録『大宅壮一文庫に見る コロナ・パンデミック』（大宅文庫編 監修・山田健太専修大教授）が24年6月、日外アソシエーツから刊行された。世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。発生から収束までの4年3か月の間に世界で何が起き、人々はどのように闘ったのか。その流れを知り、後世に伝える貴重な記録ともなる第一級の資料に仕上がった。

（大宅文庫事務局次長・鴨志田浩）

収録したのは2020年

1月、中国・武漢での新型コロナウイルス患者発生の第一報からワクチン無料接種が終了した24年3月までの動きについて日本国内の雑誌に掲載され、大宅文庫が採録した155誌の索引7420件。近年大きな出来事と言え、東日本大震災だが、発生から13年になるこの記事数をコロナ問題は4年余で



刊行された「コロナ・パンデミック」

倍近く差をつけた。雑誌の世俗に過ぎる情報は公的な記録に残らないことがほとんどだが、コロナ禍で飛び交ったデマやエビデンスに基づかない情報などに世間が困惑したり振り回されたりする様子がそのまま伝えられ、索引を追うだけで当時の記憶をありありと思い起こさせる。これこそ大宅壮一が目指した「民衆のライブラリー」としての成果に他ならない。

「人物索引」

「大宅壮一文庫 雑誌記事人物索引」（大宅文庫著・編）の最新版である2022年版が刊行された。同年中に作成した5万2765件の索引を収録した。制作

索引のほかに、尾身茂氏や岡田晴恵氏といった490人の「人物索引」、執筆者など2919人の「発言者索引」、持続化給付金などのキーワードで探れる「事項名索引」977件を巻末に組んだ。

読み進むと、雑誌記事のゆたかさや情報の豊かさに気がつかされる。コロナ問題に限らず雑誌記事情報に興味を持たれたら、「Web OYAiBunko」を入り口に、大宅文庫の雑誌記事索引をそれぞれの読み解き方で味わってほしい。

◆ 全802冊。定価1万9800円(税込)。問い合わせは日外アソシエーツ(TEL 03・3763・5241)へ。

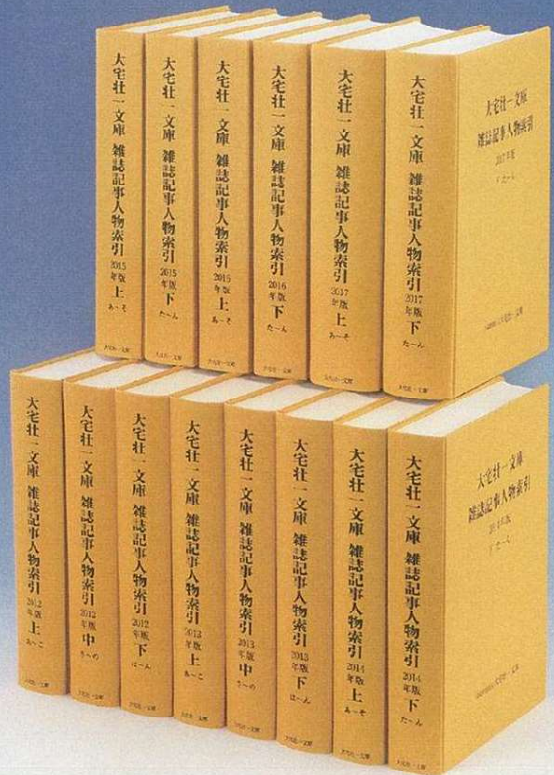
22年版刊行

元の日外アソシエーツは注文(オンデマンド出版)を受け付けている。21年版以前も注文に応じる(下記広告参照)。23年版は24年末に刊行予定。

雑誌記事で読む人物動向

大宅壮一文庫 雑誌記事人物索引

著編/公益財団法人 大宅壮一文庫



2022年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2021年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2020年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2019年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2018年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2017年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2016年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2015年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2014年版	A4・上製本・2分冊	セット価格 105,600円(税込)
2013年版	A4・上製本・3分冊	セット価格 138,600円(税込)
2012年版	A4・上製本・3分冊	セット価格 138,600円(税込)
2011年版	A4・上製本・3分冊	セット価格 138,600円(税込)
2010年版	A4・上製本・3分冊	セット価格 138,600円(税込)

※この商品はオンデマンド商品です(受注後、制作・納品いたします)。

販売代理店/日外アソシエーツ

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス
 TEL.(03)3763-5241 FAX.(03)3764-0845
 E-mail:sales@nichigai.co.jp https://www.nichigai.co.jp/

Web OYA-bunko

大宅文庫 雑誌記事索引検索システム

大改修1年

便利さ追求 利用者にも好評

昨年7月の新「Web OYA-bunko(雑誌記事索引検索システム)」のリリースから1年が経った。総額1億4500万円を投じた20年余りの大改修で、当時で732万件の巨大データベースが誕生、スマートフォンやタブレットからの索引検索にも完全対応したことで大きな反響を呼び、利用者からの反応は概ね好評だ。大宅文庫は新システムの利用拡大に期待し、次代に向け更なる改善に努める。(システム・DB担当課長・大内康嗣)

今回の大規模改修で最も力点を置いたのは①1988年以前の古い記事索引のデータ統合②ユーザーインターフェースの一新③スマホ・タブレット使用時の専用画面対応——の3点。いずれも過去20年以上にわたって蓄積していた「ここが使いづらい」「不満」「こうすれば便利」「アイデア」などの内外の指摘に応えたものだ。

特に①は従来から利用者

の要望が多く、文庫側にとっても重要な課題だった。1987年以前に作られ、手書きカードや目録本で管理していた明治期以降の100年分・100万件のデータ統合は極めて困難な作業だったが、何とか達成できた。リリース後、この1年間に利用者からは「新旧データの一括検索が容易に

なった」などのうれしい声が届く。
②と③は開発に多くの苦労が伴った。デザインとレイアウト、論理検索の条件入力方式、画面遷移の挙動、トップメニューなどの画面新設——それらの試作を何度も繰り返し完成させた。スマートフォンに採用したレスポンス・デザインを意識しての画面設計は難航したが、こちらも新規利用者らに喜ばれている。

また、UI(ユーザー・インターフェース)の変更により、以前はフリーワード検索しか使用していなかった利用者の多くが、直感的操作で大宅文庫のデータの特性である項目やキーワードを使い「条件に、より合致する検索結果を引き出せるようになった」との感想は担当者冥利に尽きる。

さて、本改修作業をしてきた数年の間に世の中では急速な発展をするAI(人工知能)や著作物の公衆送信が話題となっている。雑誌文化を残すために大宅文庫は何が出来るのか。次のシステム改修に向けたアイデアの蓄積はもう始まっている。今後の動向を見守ってほしい。


定管理業務でも目覚ましい躍進を遂げている。現在、「公立図書館版」を利用登録している図書館は30館弱だが、今後、同社が新規の配備に向けて営業を活性化させることで普及拡大に大きな期待がかかる。

OYA-bunko」の利用契約を交わし、23年12月から運用を始めた。同社サイトは大宅文庫検索画面を設け、会員企業に公開している。画面から見られるのは企業名からたどる関連記事索引で、掲載の雑誌名、発行日、掲載頁、記事タイトルが分かる。

同社は会員に大手企業が多く機密性や安全性の部分で評価が高いことから提携に踏み切った。

改修3大ポイント

- ①旧索引100万件統合一括検索を可能に
- ②検索メニュー一新 初心者も使い易く
- ③スマホ・タブレット小画面に完全対応



利用拡大へ進む企業連携

「図書館版」普及促進 TRCと委託契約

システムの機能強化に合わせ、これまでにはなかった外部機関との連携や協業も動き出した。

大宅文庫が全国の公立図書館を対象に年間契約でデ

ータ一式を提供している

「Web OYA-bunko(公立図書館版)」について、

「株式会社・東京、谷一文

子代表取締役社長」と、全

民間システム企業とも初の提携がスタートした。

「Web OYA-bunko(公立図書館版)」について、

「Web OYA-bunko(公立図書館版)」について、

ユーザーにデータ提供

「Web OYA-bunko(公立図書館版)」について、

「Web OYA-bunko(公立図書館版)」について、

雑誌の魅力 全力アピール

「がんばれ」展 2年目も多彩に

大宅文庫は23年度から雑誌の魅力を変えて社会に知ってもらおう取り組みを強めている。その主力としてスタートさせた「がんばれ雑誌」展は初年度の3企画に続き24年度も4企画を予定。いずれも収蔵誌をフルに活用し、子どもからお年寄りまで楽しめる多彩な内容で「雑誌の力」をアピールする。

- 24年度の雑誌展開催予定**
- ◇思い出の少年少女雑誌展
8月17日まで 戦前・戦後の子ども向け雑誌を展示
 - ◇アニメ雑誌大公開2024
9月15・16日 24年2月開催時のリクエストに応じて
 - ◇MLB 輝く侍たち展
11月18～30日 大谷、ゴジラらの活躍の姿を振り返る
 - ◇女性誌で綴る明るい皇室展
25年2月3～15日 美智子さまのグラビアを中心に

雑誌使って「昭和クイズ」

対外活動、社会貢献に注力

対外活動も積極的に行う。公益財団法人として社会貢献にも注力し、今春には地元社会福祉協議会が主催した高齢者向けの「脳トレ教室」や養護老人ホームでの「みんなのカフェ」に職員が出向いて、雑誌を

出の少年少女雑誌展」では、大宅文庫が収蔵する「ソレイユ」「少女の友」「少年倶楽部」など、今では貴重な子供向け雑誌を展示した。秋以降はアニメ、大リー

グ、皇室と雑誌ならではの企画がズラリ。9月の「アニメ雑誌大公開」は2月に続くほぼ同内容の企画で、「ぜひもう一度」との声が多かった前回の来場者の要望に応える。

写真Ⅱ。

24年度も同種のイベントなどにすんで参加する。「昭和クイズ」では「3億円事件で強奪されたのはどの会社のボナナス？」などの質問に答えてもらう仕掛けで、高齢者には雑誌に親しみながら往時を思い出す恰好の機会になる。開催の希望があれば気軽に大宅文庫にご相談ください。

女性誌創刊号 ●昭和のスタア ●アニメ読み放題

3初年度企画画

古いほどに価値が増す雑誌の魅力を伝えたい——そうした狙いで始めた「がんばれ雑誌」展シリーズ。23年度は「女性誌創刊号」展、「憧れの昭和スタア」展、「アニメ雑誌1500冊大公開」と3企画を実施した。

各回とも好評で「昭和スタア」展では主に近隣の女性たちが連日詰めかけ、浅丘ルリ子さんや石原裕次郎さんらのグラビアなどに見入っていた。

女性誌創刊号展

明治期からの300誌ズラリ

9月11日(月)～16日(土)

大宅文庫で開催

入館料：500円 (65歳以上半額)

問い合わせ：TEL 03-3303-4661

大宅文庫所蔵雑誌の写真と記事で回顧する

憧れの「昭和スタア」展

裕ちゃん、健さん、ひばりさん、小百合さん、ルリ子さん...の懐かし昭和30～40年代

日本が高度成長に沸いたあの時代。光り輝いた「スタア」を表紙や記事で綴った雑誌約300冊を展示し、見放題です。大宅文庫では他にもたくさんの方々の資料を見つけていただけます。みなさんのスタアは誰ですか。

開催場所：大宅文庫1階 2号館
期間：11月27日(月)～12月9日(日)
時間：11:00～18:00 (日曜休館)
入館料：500円 (65歳以上半額)
問い合わせ：TEL 03-3303-2000

大宅文庫発「がんばれ雑誌」展シリーズ第3弾

「アニメージュ」・「月刊ニュータイプ」...

アニメ雑誌 1500冊大公開

創刊号から最新号まで読み放題

開催場所：大宅文庫1階 2号館
期間：11月27日(月)～12月9日(日)
時間：11:00～18:00 (日曜休館)
入館料：500円 (65歳以上半額)
問い合わせ：TEL 03-3303-2000



使った「昭和クイズ」などをして参加者に喜ばれた。

日本雑誌協会賛助会員に

国内の雑誌出版社を中心に組織する一般社団法人・日本雑誌協会（宮原博昭理事長 会員・93社）は、24年4月から大宅文庫の賛助会員になった。業界団体が

まとまって会員登録するのは極めて珍しい。登録に合わせて同協会は、ホームページ（HP）に大宅文庫のバナーを貼った。大宅文庫のHPに直結する。

大宅文庫パトロネージュ

寄付額 初の前年度超え

発足5年目 1000万円超



文庫黒字化にも寄与

大宅文庫の運営を善意で支えてくれる会員組織の「大宅文庫パトロネージュ」。発足5年目の節目だった23年度は全国から寄せられた寄付額が総計1000万円を超え、初めて前年度実績を上回りました。この恩恵が加わったことで大宅文庫の23年度収支も少額ながら5年ぶりに黒字を計上しました。これを弾みに今年度は支援の輪の一層の広がりを期待しています。

企業の大規模支援相次ぐ

23年度の支援会費総額は1125万円で、22年度(604万円)の2倍近くまで伸びました。最大の要因は法人会員が過去最多の17企業社に増え、しかも高額の支援が目立ったためです。個人会員は128人。このうち8割超の104人が

◆大宅文庫パトロネージュ「パトロネージュ」は英語・仏語で「支援」の行為を意味する。大宅文庫の立て直しの一助とするため2019年度に発足。幅広い個人や企業・団体に参加してもらい、会費(寄付)を募っている。

前年度以前からの継続者で、新規会員は残る24人でした。個人会員を地域別に見ると21都道府県から参加があり、東京・首都圏3県だけで92人と全体の7割超。新たに個人特典として設けた

Web OYAtbunkoの利用には37人から申し込みがありました。会員の方々は一様にパトロネージュの趣旨を理解され、自主的に支援を続けてくれています。昨年の小誌で紹介したように、年金が支給される2か月ごとに送金を欠かさない方もいます。大宅文庫を未来につなぐため、今後ともご協力をお願いいたします。

遺贈、相続財産も受け入れ

「レディフォー」と提携

大宅文庫は、パトロネージュとは別枠で「遺贈」の受け入れに努めています。

今年度からは新たに「生前遺贈」の呼びかけにも取り組みます。ともに寄付サポ

ご協力ありがとうございます

【企業・団体】 講談社▽小学館▽ハースト婦人画報社▽びあ株式会社▽ユーソナー株式会社▽集英社▽西武鉄道▽マガジンハウス▽富士化学塗料株式会社▽文藝春秋▽大日本印刷▽主婦と生活社▽株式会社シービーエス▽ホーム社▽白泉社▽双葉社▽河出書房新社

【個人】 小林 一▽野村 隆二▽羽田 忠彦▽阪本 博志▽桃井 恒和▽石黒 充▽渡辺 喜満▽南 杏子▽三浦なつみ▽小野 裕輔▽竹中富知男▽黒井 昭典▽福田 勝樹▽富川 淳子▽信澤 一郎▽徳田 恵里▽松田 美佐▽会田久仁夫▽高畑 秀道▽山寄 進▽佐藤 恭子▽有田 順子▽森

義真▽佐久間一政▽後藤 美緒▽広部 潤▽稲田 寛▽橋場 一郎▽野間 省伸▽国松 春紀▽高山 謙司▽末永 汎本▽杉山 啓二▽矢島 康吉▽坂口 孝則▽東山 健▽佐藤 裕二▽渡辺 宏▽小堀桂一郎▽三好 隆弘▽井上 和明▽武田 徹▽吉成 敏夫▽石井 正暁▽鳥山 輝▽本間 啓示▽中村 美穂▽今井 孝▽佐藤 直由▽安井 厚児▽中島 昌喜▽佐藤 和宏▽深田 浩之▽高橋 岳二▽笹川 実▽中井 一平▽村上 公子▽荒井 翔平▽松田 紀子▽富田 明生▽紺野 浩▽和田 隆次▽奥山 脩二▽高橋 豊▽佐々木靖章▽柴田 正明▽田口 俊明▽熊谷慎一郎▽脇 雅俊

23年度パトロネージュに参加された方々

敬称略。公表を了承された方を掲載

レディフォー 遺贈サポーター窓口

フリーダイヤル 0120-948313

「レディフォー」は遺言書に基づき、遺産の一部またはすべてを指定先に寄付する行為です。一方、「生前遺贈」は遺贈の一部を生前に実施してもらいものです。皆様からの問い合わせや実際に遺贈、生前遺贈を決定された方からの申し込みはレディフォーで受け付けます。

あなたもご参加ください

個人参加は
1万円から

募集対象

大宅文庫パトロネージュの趣旨にご賛同いただける企業・団体と個人の皆様。業種・国籍・性別などはいずれも問いません。

会費

年会費としていただく寄付金です。企業・団体様 10万円以上

申し込み

- 上/50万円以上/100万円以上
- 個人様 1万円以上/3万円以上/5万円以上/10万円以上/100万円以上
- Web専用フォームから大宅文庫ホームページ内の「パトロネージュ専用申し込みフォーム」をご利用ください。
- 郵送・ファクス 「支援参加申込書」に氏名など必要該当事項を記入して左記にご送付ください。申込書はホームページからもダウンロードできます。
- 【送付先】〒156-0005 東京都世田谷区八幡山3-10-20 大宅壮一文庫経理総務課パトロネージュ係【ファクス】03-3330614660(経理総務課直通)

会費のお支払い方法

- オンラインクレジットカード決済 (個人向け) 三井住友銀行と業務提携するSquare社の決済サービス「Square (スクエア)」を利用できます。大宅文庫ホームページから決済ページへお進みください。
- 銀行振込 銀行名=三井住友銀行経堂支店 口座番号 普通7111544 口座名 公益財団法人大宅壮一文庫 ザイ) オオヤソウイチブンコ
- 郵便振替 口座記号 00140-3 口座番号 324738 加入者名 公益財団法人大宅壮一文庫

お問い合わせ先

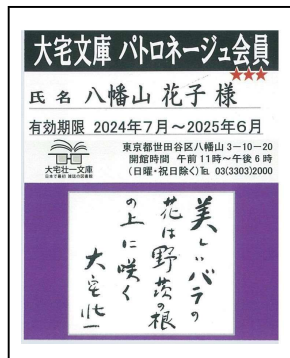
TEL03-3306-4661 大宅壮一文庫経理総務課パトロネージュ係

「Web OYA-bunko」利用特典も

ご支援の返礼

支援をいただいた方には各種特典やお礼を用意しています。

- 個人、企業・団体とも①機関誌送付(年1回) ②ホームページ・機関誌にご芳名掲載(了承者のみ) ③文庫入館料無料が共通特典です。個人向けにはさらに支援金額に応じて、Web OYA-bunkoの利用権



寄付の重みが増している



大宅文庫専務理事 鳥山輝

「日本には寄付文化がない」という定説が、いま消えつつある。2020年の個人寄付額が10年前より2.5倍も伸び、日本人の約4.5割が何らかの寄付をしているからだ。「寄付白書2023」(日本ファンドレイジング協会)によれば、東日本大震災が起きた2011年に寄付をした人は68.6%もいて寄付総額が1兆円を突破。またコロナ禍で助け合い機運が高まり、最大で寄付額の50%が還付される税制変更の効果が出ているという。

返礼品の魅力から利用者が年々増えているふると納税も寄付に含まれる。寄付額35兆円の米国、人口が日本の半数で15兆円の英国などには及ばないものの、日本人の寄付への関心はさらに高まっていくだろう。さて、わが大宅文庫も多くの方々や団体・企業から寄付をいただいている。

宅文庫は、マスコミ不況で利用者との収入の激減状態がこれからも避けられない。そこで6年前に年会費制寄付組織「大宅文庫パトロネージュ」を始めた。大宅文庫の理

解者や記事索引検索システムの利用者、出版社などが会員登録され、心強いご支援をされている。7年前、新しい寄付として注目されたクラウドファンディングに

大宅文庫はいま、昨年大改修した記事索引システムを全国の図書館でもっと利用してもらう展開を準備中だ。こうしたデータベース事業を強化する一方で、寄付収入を増やす呼びかけを広げて経営の安定化を図り、大宅文庫の存続を確かなものにしたいたいと考えている。

税控除などの対象に

内閣府認定の公益財団法人である大宅文庫への寄付や遺贈などは、所得税の控除や相続税の優遇措置の対象になります。大宅文庫が所在する東京都在在の方は、所得税控除に加えて都民税、さらに世田谷区在住の方のご寄付は区民税(両方で最大10%)の寄付金控除が受けられます。

大宅文庫インフォメーション①

昭和の2巨星にスポット

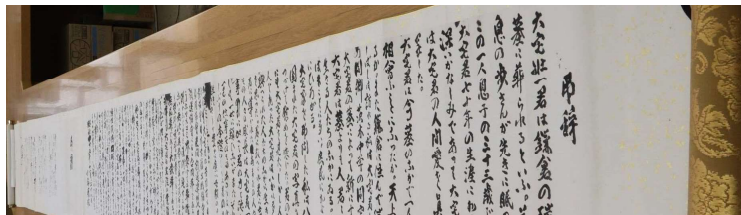
旧茨木中同窓の川端康成×大宅壮一

来秋、大阪・茨木で企画展計画

川端文学館

日本人初のノーベル文学賞受賞者である川端康成氏（1899～1972）と大宅壮一（1900～1970）にスポットを当て、生涯の友人だった両氏の関係を紹介する企画展の来秋開催に向け、大阪府茨木市の同市立川端康成文学館が調査を進めている。2人の母校である旧制茨

木中（現・府立茨木高）の創立130周年と同文学館の開館40周年に合わせた計画で、実施されれば昭和の文壇と論壇に輝かしい足跡を残した両巨星を改めて知る貴重な機会になる。大宅文庫は、大宅の死去に際し川端氏が書いた弔辞原本の出版も含めて全面的に協力する方針だ。



大宅文庫が所蔵する川端氏の直筆弔辞

大宅文庫 直筆弔辞など出展も

大宅は高等小を経て中学に進んだため通常より年長で、川端氏とは1歳違いながら茨木中では3学年下の後輩だったこともあり、当時はほとんど交流がなかった。東京帝大の学生時に親交を深め、互いの新婚時には東京・阿佐ヶ谷で隣同士で暮らした。その後も2人の関係は途切れることがなかった。



④保存されていた郵書類 ⑤調査する阪本教授

大宅あて郵書類 阪本教授が調査

大宅は高等小を経て中学に進んだため通常より年長で、川端氏とは1歳違いながら茨木中では3学年下の後輩だったこともあり、当時はほとんど交流がなかった。東京帝大の学生時に親交を深め、互いの新婚時には東京・阿佐ヶ谷で隣同士で暮らした。その後も2人の関係は途切れることがなかった。

大宅壮一が「昭和のマスコミ王」として活躍していた時代に東京・八幡山の自宅に届いた郵書類が大宅文

庫越生分館（埼玉県越生町）で見つかり、阪本博志帝京大教授（大宅文庫学術顧問）が調査している。

◆ 阪本教授の話 「大宅壮一は出版物の読者層に文章の書き方を合わせるのと同じように、聴衆に合わせて講演を行っていたのではないかと。各地の様々な組織から講演関係の手紙が送られてきていることに鑑みると、大宅の講演活動もまた、読者層に文章を合わせる発想の延長線上にとらえることができると思う」



茨木中学70年記念大講演会に集った大宅と川端氏

る。70年11月の大宅の葬儀で川端氏が読んだものだが、2021年の大宅文庫開館50周年に際し、原本が横2・3畳もの巻物に表装されて館内に保存されていたことがテレビ・新聞でニュースになり、大きな反響

を呼んだ。大宅文庫・大宅家ではこのほか、川端氏から昌夫人にあてた書簡や大宅の中学時代の生徒日誌など、中学時代の資料や当時の2人の関係を示す資料を所蔵している。川端氏は3歳から18歳まで茨木市で過ごし、川端文学館は一連の業績を顕彰している。文学館の高橋照美館長は先頃、大宅文庫を訪れ、公益財団法人大宅壮一文庫の鳥山輝専務理事に協力を要請した。高橋館長は「（大宅文庫の）貴重な資料を拝見し展示のイメージが出来上がってきた。さらに企画を練っていききたい」と話している。

が内容の調査を進めている。全盛時の交遊関係の一端が改めて明らかになりそうだ。郵書類は昭和38（1963）年9・10月と39・40年に配達された約800通。数十通単位でひもで括られ「書翰」と手書きした段ボール6箱にぎっしり詰められていた。大宅が60代半ばの頃で、昭和40年の手紙やはがきでは同年10月に母校大阪府立茨木中（当時は茨木高）の創立70周年記念式で川端康成氏と講演したのをはじめとする全国各地での数々の講演に対する依頼や礼状が目立ち、差出先は地方自治体、業界団体、企業、学会、大学の学園祭や同窓会などと多岐にわたる。このことから大宅が地方でも精神的に講演をしていたことがうかがわれる。阪本教授は年内にも大方の調査を終え、結果を今後の研究などに生かしていく考えだ。

利用料金改定しました

8月から入館料は据え置き

大宅文庫は、お客様の利用料金を全面的に見直し、8月1日より料金の改定を実施しました。大方の費目

につまましては引き上げさせていただきますが、入館料（1回500円、65歳以上半額）は据え置きます。

主な改定料金

種類	新料金	
来館コピー料 (一般・会員)	モノクロ1枚	100円
	カラー //	160円
	モノクロ1枚	70円
	カラー //	120円
配送サービス	モノクロ1枚	130円
	カラー1枚	200円
	手数料10冊まで	500円
	索引プリント1枚	50円
FAXサービス	索引1枚(10件)	400円
	記事複写1枚	400円
	手数料1回	500円
	Web会員版	索引表示1件
	記事複写1頁	330円
	手数料1回	500円
	法人会員月基本料	6050円

当文庫の本格的な利用料金の改定は2017年以来7年ぶりです。この間、当文庫はネット情報の多元化で内外の利用が縮減傾向を強める中、経費の節減に努める一方、23年度には1億4500万円余を投じて約20年ぶりに基幹システムを大改修し、時代の進展に応じた皆様の利用環境の向上を図ってまいりました。

システム業界などとの協業化にも取り組み、19年度から連続して赤字を余儀なくされていた収支も23年度

はわずかながら黒字に転じました。

今回の料金改定は、この曙光を確実なものにするための第一歩です。

当文庫もコロナ禍で大きなダメージを受けました。それでも国内の多くの企業

「書庫で学ぶ新潮社の新入社員（5月18日）
=15分「雑誌レーダー」面で詳報



社員研修などに大宅文庫利用を

大宅文庫は歴代の雑誌80万冊を現物で有する雑誌の宝庫です。2階から地下2階までの4層からなる書庫は歴史の断面を記す貴重な資料であふれています。

雑誌の歴史などを体得するには最適の施設です。マスコミ・出版企業などの社員研修や雑誌ジャーナリズム学科などで学ぶ大学生たちのゼミ研修に、ぜひご利用ください。

専大「出前講座」今年も9月から

大宅文庫は、9月から専修大学文学部ジャーナリズム学科（川崎市）で「雑誌ジャーナリズム論」の講座を行う。出版業界から一流の講師陣を派遣する「出前講座」で4年連続の開講となる。

講師はノンフィクション作家の森功氏、文藝春秋取締役で週刊文春、文藝春秋編集長を歴任した島田真氏ら。大宅文庫からも鳥山輝

専務理事や索引作成の実務者らが例年通り講師役を務め、大宅文庫が社会に果たす役割などを講義する。

9月26日から25年1月16日までの全14コマ。

大宅文庫インフォメーション②

新理事に富川氏就任

評議員・三木氏 監事・有馬氏

大宅文庫

公益財団法人大宅壮一文庫の新たな役員（評議員・理事・監事）体制がスタートした。前体制の役員任期が24年6月の評議員会をもって満了したのに伴い、同月27日に都内で開いた評議

員会で承認された。

評議員には新たに三木哲男氏（中央公論新社常務取締役編集統括兼雑誌・事業局長）が就任。理事に富川

淳子氏（元日本出版学会会長・元跡見学園女子大教

授）、監事に有馬学氏（九州大名誉教授・元福岡市博物館総館長）が加わった。任期は評議員・監事が28年までの4年、理事は26年までの2年。

阪本博志評議員（帝京大教授）と神谷昭男監事（丸八殖産代表取締役会長）は

退任、阪本氏は大宅文庫学術顧問に就き、今後大宅壮一関連の研究にあたる。

が製品の値上げに踏み切った23年度は改定を回避してまいりました。しかし、索引づくりや収蔵本の管理、館内外に向けた雑誌情報の広範な提供に日々汗を流す職員の待遇改善を進めながら、皆様に今後も安定して利用を続けてもらうためには、自助努力だけでは限界があります。収入構造を見直すことで、雑誌情報の拠点である大宅文庫を次代につなぐ基盤が築けると確信します。

皆様には深いご理解をたまわり、これまで以上にご利用くださいますようお願いいたします。

改定の詳細は大宅文庫ホームページでご案内しております。（※金額は税込み）

大宅文庫インフォメーション③

独製ブックスキャナー配備

販売会社から提供受け

高性能複写作業に威力

ドイツ製の高性能ブックスキャナーが大宅文庫に今春、配備された。取扱企業が提供してくれたもので、雑誌記事の複写作業などにさっそく威力を発揮している。



寄贈されたブックスキャナー

設置したスキャナーは「Bookeye 4 V3」。大手印刷会社などで利用されているシリーズの小型普及タイプで、狭い場所にも設置でき、操作性も優れている。

A3ノビサイズまで上向きスキャンができ、雑誌などを置く原稿台は180度フラットモードと120度のVモードに切り替えられる。

複写面を下に押し付ける必要がなく、Vモードにすると雑誌を大きく広げなく

ても撮影が可能となり、最小限の負荷でスキャンができる優れたものだ。

販売会社のユニバーサル・ビジネス・テクノロジ株式会社（東京都千代田区

「図書館を使った調べるコンクール」

田野井さん、長須賀さんに大宅賞

「第27回図書館を使った調べるコンクール」（公益財団法人図書館振興財団主催）で、優秀賞・大宅壮一文庫賞には、次の2人が選ばれた。表彰式は都内のホテルで開かれ、大宅文庫の鳥山輝専務理事から記念の盾などが贈られた。

・加藤一男代表取締役社長から提供された。大宅文庫は同社に感謝し、明治時代の発刊誌などを中心に傷みが激しい雑誌の保存や様々な複写に活用していく。

▽高校生の部 「フォトジャーナリズムの力 社会問題に向き合うためにフォトジャーナリズムをどのよう

に活用すべきか」 東京都・渋谷教育学園渋谷高2年（現3年） 田野井鈴歌さん

先ん研究を整理したうえで写真のとらえ方について200人に及ぶ独自のアンケートを実施。撮影者の倫理観にも言及した。

▽大人の部 「『習志野ソーセージ』誕生の秘密」

ドイツ人捕虜収容所から見えてくること」 千葉県・長須賀愛さん

日本のソーセージ製法伝承の地である千葉県習志野市。歴史をたどると第1次大戦中、市内の捕虜収容所にいたドイツ人捕虜と文化的な交流があったことが分かった。ウクライナの人々に思いを馳せる作者の祈りにも似た研究成果だ。

「大宅文庫ニュース」復刊後の軌跡

20年度版(85号)

21年度版(86号)

22年度版(87号)

23年度版(88号)

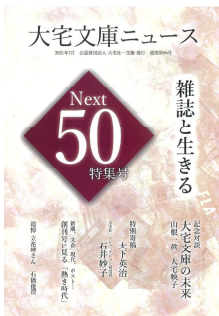
説明文は①寄稿内容②主な記事。 ※各号とも若干の取り置きがあります。

開館50年記念特集号①阿川佐和子「松井選手は『エース』なり。」▽猪瀬直樹「大宅壮一とは何者か。」

「Next 50」特集号①大下英治「大宅壮一の『無思想人宣言』」▽石井妙子「女帝小池百合子」②「大宅文庫の未来」大宅映子×山根一真対談

①阪本博志「大宅文庫に受け継がれているもの」▽佐久間文子「ツボちゃんも愛した大宅文庫の話。」②「大宅式索引半世紀 雑誌を飾った顔・事件」

索引システム大改修特集号①富川淳子「80年代 大宅文庫は遠かった。」▽森功「『ノンフィクションの危機』で問われるもの②『週刊朝日』休刊の衝撃



編集後記

▼小誌は2020年の復刊から第5号に至った。各号の寄稿者は85号の阿川佐和子さん、猪瀬直樹さんを手始めに多彩な顔触れが並ぶ。読み返すと、それぞれの含蓄の深さに改めて驚かされる。

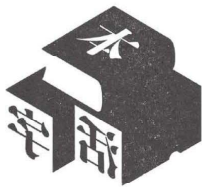
▼今号に寄せてくれたのは松田紀子さん。ライブル2誌「レタスクラブ」と「オレンジペーじ」の編集長を歴任した異才である。「頼まれたら断らない性格」にあまえて、表紙にもご登場ねがった。

▼記述の内容が興味深い。当時高2で学校を休みがちだったご息が「しぶしぶ」付いたご子息が大宅文庫で好きな音楽雑誌をむさぼるように読んで学校に行きだしたという。

▼これこそ「雑誌の力」だろう。古色蒼然たる書庫に詰まった雑誌群だが、若い世代にまで明日からのエネルギーを提供できるのだとしたら素直にうれしい。「文庫体験」の広がり期待したい。（責任編集・渡辺喜満）

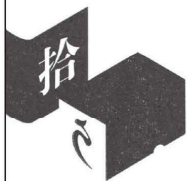
大宅文庫ニュース第89号
発行所
公益財団法人大宅壮一文庫
理事長 大宅 映子
〒156-0056
東京都世田谷区八幡山3-10-20
Tel.03-3303-2000
https://www.oya-bunko.or.jp

一文字ずつ手描きで原図を作成し、活字を鋳造する型となる母型を機械で彫ります。母型のない活字は職人が彫刻刀で直彫りして作字します。



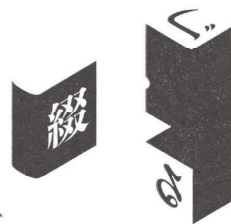
拾った活字をページの形へと組み上げます。余白になる行間や文字間もすべて金属で埋め尽くして、印刷のための版に仕上げます。

市谷の杜 本と活字館 Ichigaya Letterpress Factory



欄に並んだ大量の活字から、原稿にしたがって、一字ずつ選びます。この作業を「文選」といい、活字の配列を覚えている文選職人は素早く活字を拾って文章をつくります。

印刷された紙を折り、重ねて綴じて、本の形状に仕上げます。綴じ方には、糸かがり綴じ、中綴じ、無線綴じなどの手法があります。



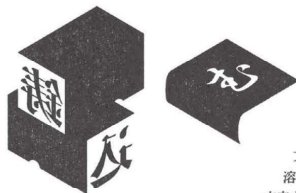
活字を拾う。印刷の原点である活版印刷は、膨大な活字が並ぶ棚から職人が原稿に合わせて、一文字ずつ、拾っては並べてを繰り返して文章を組み上げます。作字、鋳造、文選、植字、印刷、製本。想像を超える緻密な作業と途方もない数の工程を経て、一冊の本が仕上がります。

「市谷の杜 本と活字館」のテーマは、活版印刷と本づくり。この施設は、大正時代に建てられた大日本印刷の市谷工場の営業所を修復・復元したものです。館内には、かつての印刷工場の風景を一部再現した印刷所があり、ここを仕事場として、職人が活字を拾い、印刷機を回しています。

二階にある制作室では、印刷と本づくりを体験することもできます。他にも活字や本づくり関連の企画展を行う展示室や大日本印刷の歴史を紹介している記録室、さらには購買、喫茶などがあり、知識を深めながら楽しい時間を過ごすことができます。

一八七六年創業の大日本印刷は、日本の近代活版印刷文化の始まりとにもあります。活字に親しみ、歴史を探索しながら、奥深く美しい、印刷の世界をお楽しみください。

五感で楽しむ、リアルファクトリー。



文字の型である母型に溶けた金属を流し込んで、一文字ずつ、金属活字をつくります。良質な印刷には活字の均一性が求められます。

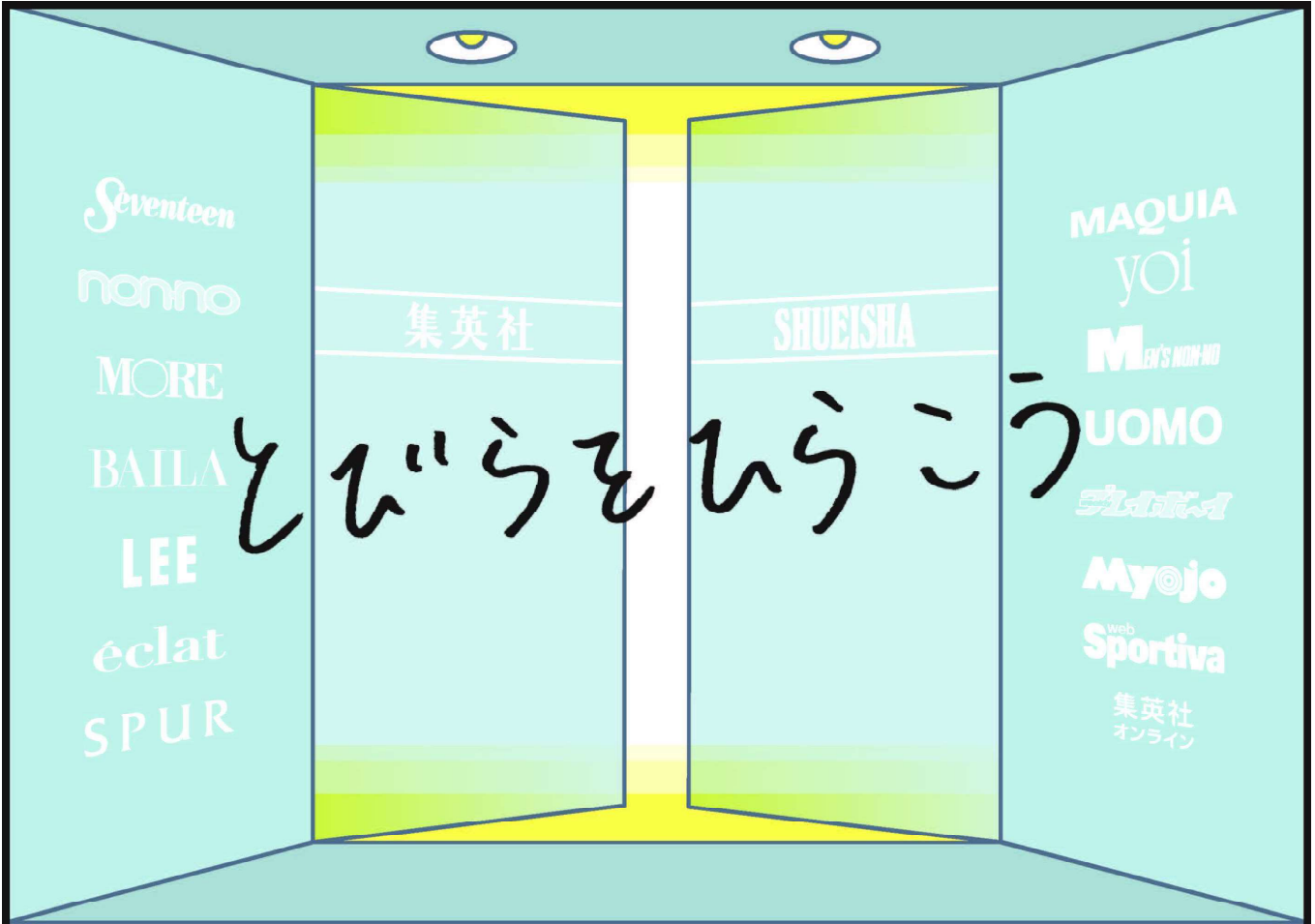
完成した組版を機械にセットし、インキをつけて紙に刷ります。校正機で校正刷りを行い、誤植がないか確認した上で、本機で刷ります。



住所：162-8001 東京都新宿区市谷加賀町 1-1-1
電話：03-6386-0555
開館：10時～18時
休館：月・火(祝日の場合開館)
入場無料



ichigaya-letterpress.jp



Seventeen
不定期刊

nonno
毎月20日発売

MORE
不定期刊

BAILA
毎月28日発売

LEE
毎月7日発売

éclat
毎月1日発売

SPUR
毎月23日発売

MAQUIA
毎月22日発売

yoi
<https://yoi.shueisha.co.jp/>

MEN'S NON-NO
毎月9日発売

UOMO
毎月25日発売

フライボーイ
毎週月曜日発売

Myojo
毎月23日発売

web Sportiva
<http://sportiva.shueisha.co.jp>

**集英社
オンライン**
<https://shueisha.online/>

集英社



〒101-8050
東京都千代田区一ツ橋2-5-10
<https://www.shueisha.co.jp/>